



広報リポーターの突撃取材!



晴れ着姿で合唱する園児たち

久慈湊保育園（中田恵子園長）の卒園式は3月20日に開かれ、園児19人が楽しい思い出が詰まった保育園に別れを告げました。園児は元気な笑顔を見せ、4月からの小学校に胸を弾ませていました。（生平隆リポーター）

19思 人い が出 卒胸 園に



児童のハンドベル演奏や虫まつり行列も披露

枝成沢小学校の閉校に伴う思い出を語る会は3月21日、市内催事場で開催。同窓生による思い出が語られ、参加者123人が懐かしい当時に思いを話しました。最後は全員で校歌斉唱し、再会を誓いました。（小倉利之リポーター）

思枝 い成 出沢 語小 るの

865人 巣立ちの季節

各小・中学校で卒業式

3月、市内小・中学校で卒業式が開かれ、小学6年生414人、中学3年生451人の計865人が慣れ親しんだ学び舎を巣立ちました。

3月12日は、小・中学校のトップを切って夏井中学校（佐藤順校長・生徒78人）で卒業式。佐藤校長は卒業生29人に卒業証書を手渡した後、「これから多くのことに挑戦し、たくましく成長していくことを祈ります」と式辞を述べました。

卒業生と在校生は、夏井中伝統の合唱でエールを交換。卒業生は「友との思い出を希望の光にして踏み出していきます」と、新生活に向けた決意を述べ、力強い足取りで学び舎を後にしました。



夏井中卒業生の見事な合唱。先生や下級生、家族に感謝を込めました



上/満面に笑顔を広げる三船十段記念館柔道スポーツ少年団
右/拳を固めて意欲をみせる侍浜柔道教室スポーツ少年団



柔道スポ少が大活躍!

久慈勢が県大会上位占める

2月21日、盛岡市で開かれた第32回岩手県スポーツ少年団柔道大会の団体試合で、三船十段記念館柔道スポーツ少年団Aが5年連続17回目の優勝を果たしました。また同少年団Bと侍浜柔道教室スポーツ少年団も3位に入賞。見事、久慈勢が上位を占め、柔道のまちの力強さを見せつけました。

試合は1チーム5人の総当り戦。三船Aは準決勝で侍浜との久慈対決を制し、決勝戦に駒を進めました。三船Bを破った盛岡柔道スポーツ少年団との決勝戦では、先鋒の畠山立成くん（久慈小4年）と次鋒の後藤香澄さん（長内小4年）が連勝。中堅、副将の2人が引き分け、最後は大將を任された主将の久松泰斗くん（小久慈小5年）が一本勝ちし、3-0で勝利を収めました。

5月5日、東京都で開かれる全国大会に向けて久松くんは「技を掛けて一本を取る柔道がしたいです。力を合わせて全国制覇を目指します」と活躍を誓っていました。

“夢持って”とメッセージ

自立支援協講演会

久慈地域障害者自立支援協議会講演会は2月27日、市内催事場で開かれました。

元Jリーガーでパラリンピック車椅子バスケットボール日本代表の京谷和幸さんは「夢は行動や結果を変えます。夢を持って一歩踏み出しましょう」と、220人に力強いメッセージを送りました。



夢と出会いの大切さを力説した京谷さん



中村さんの講演に約70人の参加者は夢中

成功の花咲かす人生を スポーツ講演会

イチローなど14人をプロ野球に送り込んだ元高校野球部監督の中村豪さんによるスポーツ講演会（市体育協会主催）は3月13日、市民体育館で開かれました。

中村さんは「プロだけが成功じゃない。それぞれの分野で花を咲かせ、人生のレギュラーをつかんでほしい」と語りました。

健康な歯をいつまでも

8020コンクール表彰式

健康な歯が20本以上ある80歳以上の方を表彰する久慈市イー歯トーブ8020コンクールの表彰式は3月16日、元気の泉で開かれました。受賞者は次のとおり。（敬称略）▶長倉良雄（山根町）▶織茂平（山形町）▶織茂美穂（山形町）▶村田辰雄（川貫）▶小田ヨシ（寺里）▶佐々木要次郎（大沢）



謝辞を述べる佐々木要次郎さん



あいさつの基本を熱く指導する平林さん

プロの接遇真剣に学ぶ 新おもてなしセミナー

テレビ番組でも活躍するマナー講師の平林都さんによる新おもてなしセミナー（市雇用開発促進協議会主催）は3月17日、市内催事場で開催。40人がプロの接遇を真剣に学びました。

平林さんは毎日「必要なのは笑顔と言葉と動作。毎日反復練習し、実行して」と熱弁しました。

団塊世代が久慈を満喫

ツアーで首都圏から16人

2月25-27日、久慈市への移住・定住を推進するための、団塊世代モニターツアーが行われ、首都圏から参加した16人が山や海の暮らしを体験しました。

内容は炭作りから凍み豆腐作り、海女との交流など盛りだくさん。ツアー客は初体験に笑顔を広げ、久慈を満喫していました。



楽しそうに凍み豆腐を吊るすツアー客



パネリストの発表に聴き入る参加者

熱く語った地域の医療 医療シンポジウム

シンポジウム「久慈地域の医療をみんなで考えよう」は3月8日、合同庁舎で開催。200人を超す参加者を前に、医師や住民など7人のパネリストが医療への熱い思いを語りました。

鳥谷宗正久慈医師会会長は「医療は資源。少ない資源を大切にしましょう」と呼び掛けました。